会　議　録	令和８年７月27日作成	令和12年３月末日廃棄

会議名	京都府木津警察署協議会（令和８年度第１回）
開催日	令和８年６月30日（火曜日）
時　間	午後１時30分から午後３時20分までの間（ 110分）
場　所	京都府木津警察署　講堂
	光橋会長、山本副会長、有馬委員、宮本委員、岩木委員、清田委員、古川委員、中島委員、松石委員、福岡委員 （欠席　市場委員）　計10人 --- 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴・相談係長　計10人
諮　問 事　項	木津警察署管内の犯罪情勢について
会　議 内　容	1　新規委員委嘱状交付　司会　副署長 2　会長挨拶 3　署長挨拶 4　協議　司会　会長 諮問事項説明 木津警察署管内の犯罪情勢について～生活安全課長 【委員】特殊詐欺について、広報啓発活動等で情報発信しているにもかかわらず被害が減少しないのは、その情報が「行動」につながっていないことが要因ではないか。被害者の大半は「自分は大丈夫だと思っていた。」と言っていると聞いたことがある。日々様々な広報啓発活動をしていただいているが、知識の普及から「実際に行動してもらう。」ことに重点を移すことを考えてはどうか。 【警察】最近では広報啓発活動の現場において特設ブースを設けて、自宅加入電話への国際電話利用停止の申込受付や携帯電話への特殊詐欺対策アプリダウンロードなど、実際に現場で行うようにしており、今後も継続していく。 ブースに来てくれる方は防犯意識の高い方で、そういう方は被害に遭いにくい。被害に遭いやすい方へのアプローチをどのようにしていくかが今後の課題である。 【委員】特殊詐欺対策アプリについても、パスワードやメールアドレスなどの打込

会　議 内　容	みが面倒という人もいると思う。私も含めてだが特に高齢になればなるほど、そういう細かい作業が面倒で「もういいか。」ということになり、途中で諦めてしまいがちである。もっと簡単に設定できればもっと浸透するのではないか。 【警察】最近のものはダウンロードするだけで難しい設定をしなくていいものもあるので、現在それをメインに広報しているところである。 【委員】これだけ広報しているのにだまされる人が減らないというのは、広報が浸透していないか、アナウンスがマンネリ化して、効き目が薄くなっているのではないか。マンネリ化対策も考える必要があると思う。 　木津署では19（トク）詐欺防止の日として、毎月19日に特殊詐欺被害防止の広報啓発活動を実施しているが、木津署だけでなく京都府警察全体、更に全国規模で行うようになればいいと思う。 【警察】広報内容が浸透しやすいようにと考えて実施しているのが、19（トク）詐欺防止の日である。これは当署を含め各署が行っている15日の年金支給日での広報活動に加えて署独自で設定したものであり、効果のほどは今後検証し、効果が認められれば各署にも広がっていくのではと考えている。 【委員】見せてもらった映像に、偽の警察官から逮捕されるという詐欺電話があったが、実際に他府県から逮捕しにくることはあるのか。 【警察】犯罪を犯していれば、犯行地を管轄する警察が他府県まで逮捕しにいくことはある。ただし、捜査対象者に対して「逮捕されることになる。」「電話での取調べを行う。」と言うことはない。警察がＬＩＮＥなど通信アプリで連絡を取ることはない。 【委員】行政の立場から防犯への取組について申し上げると、町としては防犯カメラの増設や通学路上の危険箇所の安全性確保の取組、防犯機能付き電話への補助も行っており、今年度の申請も多くなっている。 　町のイベント時など必要であれば広報用の警察ブースなど用意する。 【委員】田舎の方に住んでいるが、不用品買取り業者等がよく来る。自宅に何があるか下調べにきているのではないかと不安である。 【警察】不用品買取り業者が山間部などの高齢者世帯を訪問しているとは聞いている。自ら業者を選定し連絡して来てもらうのは大丈夫と思うが、中には悪徳業者もいるので、飛び込みで来るような業者には安易に応じず、しっかりと身分を確認してもらったほうが良い。あまりにもしつこい場合は１１０番してもらえば警察が現場に行かせてもらう。トクリュウかどうかは見極めが難しいので、現場で対応させてもらう方が、安心できると思う。 【委員】私共も商業施設でＳＮＳなどの相談窓口を設けることがあるが、相談に来られた方のＳＮＳを確認したところロマンス詐欺に遭っていて、職員がいくら説明しても信じてもらえないことがあった。その場合、警察に連絡した方がいいのだろうか。 【警察】その場合は必ず警察を呼んでほしい。１件でも被害をなくすことが大切なので遠慮してもらう必要はない。また、既にお金を送金している場合は、警

会　議 内　容	察で送金先の銀行口座を凍結する手続きなどを行うので、警察に行くよう促していただきたい。 【委員】特殊詐欺防止アプリについてダウンロードを推奨しているとのことであるが、アプリは有料か。 【警察】無料でダウンロードできてその後もお金がかかることはないので、是非まだの方はダウンロードをお願いしたい。 【委員】詐欺の電話は私にもかかってきたことがあるが、何か法則性があるのか。 【警察】名簿などが出回っているという場合もあるが、ランダムにかけてくる場合もある。警察官の携帯にもかかってくる。特殊詐欺に関しては地域性や年齢に関係なくいろいろな手口があるので、「ここは大丈夫。」「私は大丈夫。」などということはなく誰しもが被害者になりうるものなので注意してほしい。 【委員】だまされそうになったという高齢者から「もともと子供や孫がおっちょこちょいで、実際にあってもおかしくない話をされたので信じてしまった。」という話を聞いた。そういうツボにはまってしまうとだまされてしまうのではないかと思う。もっと具体的に広報すれば皆も聞いてくれるのではないか。 【警察】警察本部や各署も様々な方法を考えて広報をしている。漫才やコント仕立てで実際に遭った手口を紹介したり、木津署が行っている19(トク)詐欺防止の日もその一環である。 最近は、ニセ警察官詐欺やオレオレ詐欺が増加傾向にあるので周囲への注意喚起をお願いしたい。 5　事務連絡 令和８年度第２回木津警察署協議会は、令和８年９月初旬に実施予定である。 以上

第１回京都府木津警察署協議会の開催状況



